日立市立諏訪小学校

Ⅰ　実践

1　研究主題

「自分の大切さとともに、他の人も大切にしようとする思いが具体的な態度や行動に表れるような、実践的な態度の育成」

（１）　主題設定の理由

本校の学校教育目標具現化に向けての教育活動「やさしさプラン」を土台とし、思いやりの心を実際の言動として表現することを大切にし、自分や他者の良さを認め合うことで、より良い人間関係を築いていける児童を育てることを目指し、本主題を設定した。

（２）　研究の内容

①　道徳や生活科、特別活動、総合的な学習の時間の中での人権教育の充実

②　体験・交流ができる場の設定

2　実践内容

（１）　道徳の取り組み

ア　ハートフルコーナーの設置

本校では、道徳科の時間を中心に友達との関わりの中で心に響いたことやうれしいと感じたことをハートフルカードに書いている。そして、学級のみんなに紹介できるハートフルコーナーに掲示することで、多くの感動体験や友達の良さを共感できるようにしている。

イ　人権週間（11/29～12/3）での取り組み

人権週間に合わせて、人権意識を高めるために全学級でDVD鑑賞を行った。児童から、「人に優しくすることの大切さが分かった」、「差別をなくしたい」、「ごめんねと言えるようになりたい」「家族を大切にしたい」などの感想があり、人権について考える機会となった。

（２）　特別活動や総合的な学習の時間等の取組

ア　異学年交流

月に一回ロング昼休みの時間に縦割り班活動を行っている。全校児童を12グループに分け、年間を通して様々な集団活動に取り組むことによって、異年齢児童相互の親睦を深めたり、他者への思いやりの心を養ったりすることを目指している。異学年交流を通して、高学年の児童は、どの学年の児童でも楽しく遊べるよう工夫したり、思いやりをもって接したりする態度が育ってきた。

【縦割り班のメンバー紹介の掲示】

（3）　その他

ア　人権メッセージ

全校児童で人権メッセージを書く活動に取り組んだ。家族や友達への感謝の気持ちや、いじめや差別で苦しんでいる人に向けた心温まるメッセージを書いた。特に良く書けていた作品を人権コーナーに掲示し、全校で共有した。

イ　あいさつ運動

運営委員を中心に、毎朝あいさつ運動を行った。児童全員が元気なあいさつができるように、給食の時間にあいさつを返した人数や特に元気な声であいさつをした児童の名前を発表したり、あいさつの大切さを呼びかけるポスターを掲示した。また、各教室を回って問題を出してあいさつの大切さを考えさせた。運営委員が扮する諏訪小学校のイメージキャラクターも加わり、あいさつ運動への関心を高めることができた。

【あいさつ運動】

3　成果

コロナ禍で予定していた行事や集会活動が中止となることが多かったが、教育活動全体を通して人権教育を大切に進めていくことで、自分の良さや他者の良さに気付くことができ、周りの人に対して思いやりの心をもって接することができるようになってきている。

II　今後の課題

来年度も引き続き、教育活動全体を通して人権教育を推進していきたい。また、体験活動などで養われた人権意識がさらに豊かに育っていくよう、学校だけでなく、地域、家庭と協力・連携し合って、児童一人一人の良さを地域社会全体で認められる環境作りに努めたい。

III　人権コーナー設置の様子

【人権メッセージの掲示】

【ハートフルコーナー】

【あいさつポスター】